

45

|                        |          |            |              |            |
|------------------------|----------|------------|--------------|------------|
| お名前<br>むらた すすむ<br>村田 進 | 性別<br>男性 | 満年齢<br>74歳 | 終戦時の年齢<br>8歳 | 現住所<br>中宇利 |
|------------------------|----------|------------|--------------|------------|

宇理国民学校3年生

- ① 8月15日は、どこでどんなことをしていましたか。  
家にいたと思う。
- ② 終戦のことを、どこで、どのように聞かれましたか。  
兄の家において、父親から聞いたと思う。担任の先生からも聞いた。
- ③ 敗戦を知らされた時の気持ちやその時の様子  
負けたということはあまり感じなかったと思う。日本が負けたら大変なことになると思っていた。(子どもたちの間では、いろいろなデマがとびかっていた。)
- ④ 体験の中で、子どもたちに語り伝えておきたいこと

### 「宇理国民学校のあれこれ」

授業が始まる前に一斉に音楽が流れ、「海ゆかば～」の歌を必ず歌った。軍隊式の教え方なので、よく叱られた。

2年生の時、サイパン島がアメリカにとられた時、「サイパンぐらいとられてもいい。自分たちが生きていけばいいんだ。」と話していたら、女の担任の先生にひどく叱られた。クラス全員（30人以上いた）が、職員室に1時間ぐらい正座させられた。悪いことをして叱られる時は、必ずたたかれた。

空襲警報が発令されると、授業を中止して帰宅した。公会堂に警防団（今の消防団）の詰め所が置かれていた。そこにラジオがあり、空襲警報が発令された。

教室の後ろにグラフがあって、1週間に1回点検があった。つめ切りや言葉遣いなどが検査され、悪いと×印をうたれた。

鉛筆はやぐくて（質が悪い）、すぐに折れた。クレヨンや半紙はなかった。書道は、新聞紙に真っ黒くなるまで練習して、清書はわら半紙に書いた。図画はクレヨンがないから、鉛筆画を描いた。

教科書は、1・2年生の時はずっとあったが、終戦後の4年生の時（1946年、昭和21年）は、新聞の大きさに配られた。それをはさみで切って綴じた。終戦直後で、教科書にするだけの時間と技術がなかったのだと思う。

服は配給制で、くじ引きだったので、なかなか当たらなかった。ガラ紡とよばれる南京袋ぶくろに使うような繊維せんいで作った服が多かった。先生たちも服が手に入らないので、5年生（昭和22年）の頃でも軍服を着ていた。そのころまでは、軍隊式の教え方も残っていたように思う。

女子は、みんな頭にDDT（シラミの薬）をかけられた。お辞儀をするように頭を下げると、上からかけられた。シラミ退治だった。

## ○ 学校での遊び

- ・陣<sup>じん</sup>とりをよくやった。センダンの木を陣地にして、二手に分かれて戦った。
- ・竹のぼり、クギぬきなどもよくやった。
- ・運動場の3分の2はサツマイモ畑だったので、遊び場がなく、富<sup>ふ</sup>賀<sup>か</sup>寺の境内でもよく遊んだ。
- ・冬は雪合戦をやった。その頃はまだよく雪が降<sup>ふ</sup>ったので、たくさん積もった時などは防空ずきんをかぶって雪合戦をやった。



▲ 防空ずきん 昭和18年

## ○ 運動会

帽子<sup>ぼうし</sup>とりがあったが、今の赤白帽子<sup>ちが</sup>と違ってつばがない帽子で、きつく絞<sup>しぼ</sup>って相手にとられないようにした。徒競走は運動靴<sup>うんどうぐつ</sup>がないので、みんなはだしで走った。賞品があり、1等から3等になると鉛筆などがもらえた。通学団リレーでも賞品があったので、みんな真剣<sup>しんけん</sup>そのものだった。

運動会の種目の中で、消防団と青年団<sup>たいこう</sup>の対抗リレーがあった。コースは学校の外で、長い距離は1kmとか500mぐらいあった。私はアンカーで、今の信号機あたりから学校まで走ったが、門前の急な坂で消防団に抜かれて、悔<sup>ぬ</sup>しい思いをした覚えがある。障害物<sup>しょうがいぶつ</sup>リレーや自転車<sup>そ</sup>の遅<sup>かい</sup>のり競争などの種目もあった。

## ○ 疎開

疎開で来た子が大ぜいいた。朝鮮人<sup>ちようせんじん</sup>が、福津<sup>ふくづ</sup>に家を建てて宇理宇へ2、3人通っていた。みんなと同じように遊んで仲よくしていたが、時にはいじめたこともあった。親が家<sup>おこ</sup>まで怒<sup>き</sup>ってきた記憶がある。

## ○ 勤労奉仕

高学年はしょっちゅう作業をしていた。田んぼの世話<sup>によう</sup>やし尿<sup>しより</sup>の処理は、高等科の仕事だった。イナゴとりを高学年が行って、釜<sup>かま</sup>でゆでて食べた。

八幡神社の周辺に網を張って、野ウサギを追った覚えがある。みんなで追いかけたが、つかまえられなかった。学校で食べる予定だったと思う。

## ○ 給食

小5から給食が始まった。給食といっても、アメリカの配給物資で、粉ミルクや缶<sup>かん</sup>のジュースだけだった。粉ミルクはドラム缶に入っていて、高学年が順番で清水野小学校まで大八車<sup>だつ し ふんにゆう</sup>で持ちに行った。脱脂粉乳でおいしいものではなかった。お母さんたちが交代で学校へ出て、ミルクをわかしてくれた。まきも持ち寄ってくれたそうだ。ご飯やおかずは自分たちで用意した。ほとんどは、日の丸弁当で、おかずはな<sup>うめぼ</sup>かった。梅干しか、たくあんぐらいだった。

## ○ 桜部隊

公会堂にいた。上官は民家に泊まっていて、遊びに行くと、兵隊さんは、乾パンや金平糖をくれた。兄の家で豚を飼っていた。兵隊が行軍で来ると、豚をつぶして兵隊に食べさせたことがあった。終戦後、兵隊さんが慰安会を公会堂でやってくれて、いろんな芸を見せてくれた。

### 国民学校のスタート

昭和16年4月、国民学校令が制定され、全国一斉にスタートした。それまでの尋常小学校の義務教育6年制が改められ、初等科6年、高等科2年が義務教育となった。教科は次のように変わった。

#### 国民学校当時の教科

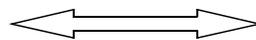
|     | 初等科                    | 高等科                            |
|-----|------------------------|--------------------------------|
| 国民科 | 修身, 国語, 国史, 地理         | 修身, 国語, 国史, 地理                 |
| 理数科 | 算数, 理科                 | 算数, 理科                         |
| 体錬科 | 武道, 体操                 | 体操, 武道                         |
| 芸能科 | 音楽, 習字, 図画, 工作, 裁縫 (女) | 音楽, 習字, 図画, 工作, 家事 (女), 裁縫 (女) |
| 実業科 | —————                  | 農業, 工業, 商業, 水産の1科目以上           |

内容は、祖国意識を育て、児童の心に「日本は神の国」であることを徹底させ、国家主義、軍国主義の強化を図ろうとしたものだった。戦争のための武器として教育を利用した色彩が強かった。  
(参考 新城市史)

## 八幡神社の山に今も残る防空壕



▲ 外から見た防空壕



村田進さんの話では、駐留していた桜部隊が掘った防空壕ではないかということです。防空壕のおよその大きさは、幅が1m、高さ1.7m、奥ゆき5mで、くずれた跡もなく当時のままです。武器を隠すためか、避難場所にするためだったようです。



▲ 防空壕の内部